令和４年度　北海道社会教育主事会協議会研究テーマに係る実践報告書

<table>
<tr><th>渡島管内</th><th>知内町</th></tr>
<tr><td colspan="2">●実践の概要
・知内町地域学校協働本部の取り組み
令和 3 年度に知内町地域学校協働本部の組織を立ち上げ、令和 4 年度から事業を実施
コーディネーター1 名と社会教育委員の会、教育委員会が連携して取り組みを推進
町内各学校が行う総合的な学習の時間へ講師を派遣している
・人材バンクは本部設立に合わせて整備した「しりうち生涯学習サポートバンク」を活用
現在 16 名の講師が登録
・実施事業
町の産業について学ぶ（2 回）7 名派遣、ふるさと調理実習 2 名派遣、川の生き物について学ぶ 3 名派遣、山の生き物について学ぶ 1 名派遣、ICT 教育 1 名派遣、私の未来～はたらくとは何だろう？～2 名派遣　　計 16 名派遣</td></tr>
<tr><td colspan="2">●実践に至るまでの経緯・準備したこと
・社会教育委員の会での協議
・文科省から講師派遣を受けた講演会の開催
・先進地視察
・講師候補者リストの作成
・実際に講師候補者宅を巡回し、事業の内容を説明し講師登録依頼
・町内巡回とコーディネーターとの打ち合わせは、毎週水曜日を活動日として実施</td></tr>
<tr><td colspan="2">●実践で難しいと思ったこと・困っていること</td></tr>
<tr><td colspan="2">●改善のアイディア
・</td></tr>
<tr><td>●実践での行政職員の関わり
・コーディネーターに任せきりにならないよう活動時には教育委員会職員が同行している
・講師派遣の受付は教育委員会が行っている</td><td>●実践後の対象の変容
・講師はそれぞれの分野で活躍する専門家のため、一言一言に重みがあり、児童生徒の心に大きく響いている様子</td></tr>
<tr><td colspan="2">●実践から導き出された社会教育行政職員の役割
・コーディネート　　・事業の企画立案</td></tr>
</table>